

緑のセンターだより



No.136

財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター（相談所）

〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel: 0166-65-5553 Fax: 0166-65-5626

旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>

発行：平成 24 年 6 月 1 日

講習会のご案内（お申込み・受付は前月の 20 日から）

「山野草の寄せ植えづくり」教材費 ¥1,500

とき 平成 24 年 6 月 3 日（日）

午後 1:30～3:30 定員 20 名

講師 北海道山草趣味の会 森下光晴さん

「庭木の剪定」-ツツジ類など花木-

とき 平成 24 年 6 月 17 日（日）

午後 1:30～3:30 定員 30 名

講師 旭川市公園緑地協会職員



「神楽岡公園自然観察会」-初夏の野草観察-

とき 平成 24 年 6 月 24 日（日）親子・一般

午後 1:30～3:30 定員 30 名

講師 旭川帰化植物研究会

代表 塩田 惇さん

「フラワーハンキングバスケットづくり」教材費 ¥2,000

とき 平成 24 年 7 月 1 日（日）

午後 1:30～3:30 定員 20 名

講師 フラワーマスター 山本裕美さん



「植物の病気と害虫、農薬の正しい使い方」

とき 平成 24 年 7 月 8 日（日）

午後 1:30～3:30 定員 30 名

講師 緑のセンター相談員

「観葉植物の寄せ植え」教材費 ¥600

とき 平成 24 年 7 月 15 日（日）

午後 1:30～3:30 定員 20 名

講師 緑のセンター相談員

《花フェスタの開催》6月6日～10日

場所：大雪アリーナ ＊相談コーナーあり

6月9日（土）10～14時 ＊野点あり

展示会のご案内（初日は午後から、最終日は 4 時まで）

「サツキ展」6月1日～3日
旭川サツキ会（相談コーナーあり）

「山野草展」6月1日～3日
北海道山草趣味の会

「温室の植物写真展」6月4日～29日
二人展：森忠雄さん、尾崎慶子さん

～ 緑のセンターまつり 2012 ～ 場所：神楽岡公園・緑のセンター

平成 24 年 8 月 5 日（日）時間：午前 10 時～午後 4 時

☆球根プレゼント、ビンゴゲーム、もちつき、よさこい演舞、

神楽岡太鼓、農産物・園芸即売、寄せ植え体験教室、

納涼ビアガーデン、ハンキングバスケット、花と緑の相談コーナー

☆展示：洋ラン、ミニ盆栽、山野草、盆景、押花

スタッフ一同、みなさまのご来場お待ちしております！



ハーブティーでリラックスタイム

- くつろぎカフェ -

6月18,19,21,22日 13～15時

ハーブティーセラピストによる茶葉

の効用、抽出の仕方、

種類など...

講習料 100 円

♥試飲あり



＜園芸の基礎知識＞ 植物にとっての土の役割

― 土は根の住まい！ 健康管理は先ず土から ―

茎や幹を支える

強い雨や風で植物が倒れないように土が根を固定しています。

水分・養分・空気を与える

根の呼吸に必要な酸素を与え、生育に必要な水分や養分を供給します。

根をショックから守る

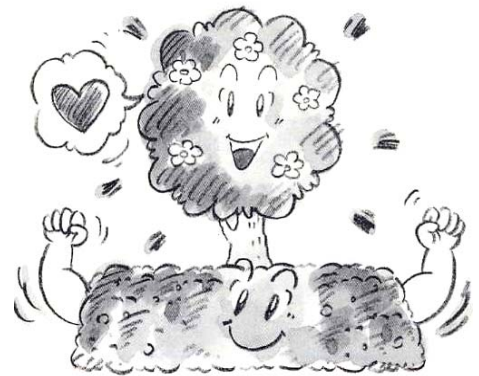
有害物質の流入や肥料の過不足のとき緩衝能（かんしょうのう）によって植物への障害を和らげます。

小動物と微生物のはたらきが重要

土の中にはミミズなどの小動物や、さらに小さなバクテリアや細菌類、カビなどの微生物が住んで有機物を分解し、植物が肥料分として吸収するように変化させたり、団粒構造にして植物の生育を助けます。

根を低温や高温から守る

土の中は、空気中の温度に比べて四季を通じて温度変化が少なく、植物の根を守る働きがあります。



（住化園芸 KK「園芸用土の基礎知識」から引用）

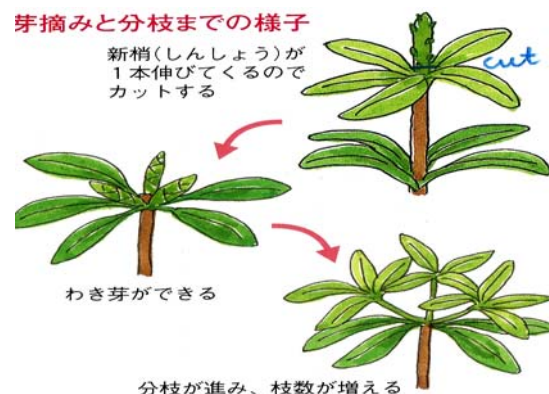
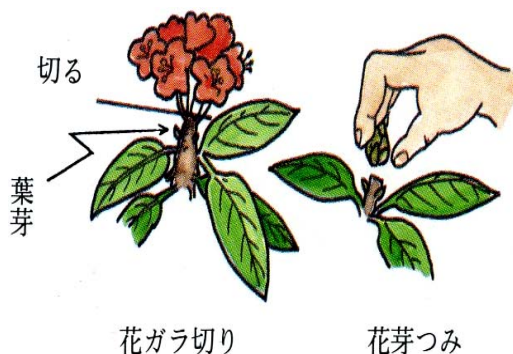
緑の相談 QアンドA (10)

シャクナゲの剪定方法と花の咲かせ方を教えて下さい。

シャクナゲは伸びた枝を切っても芽吹きません。したがって強い剪定はできず、込み合った枝を間引きしたり、小枝があれば、小枝の上で切り戻しする程度です。

自然のままでは枝が伸びすぎ 20～30 cmも伸びることがあります。春芽が動く前に葉芽を摘み、わき芽を伸ばすと、樹高が押さえられ2又、3又の樹形に整えることができます。花後伸びだした新芽も勢いのよいものは早めに摘み、2番芽を育てると樹高を抑えられます。

毎年同じくらい花を咲かせるには、花が咲き終わると同時に花柄のすぐ下にある小さな葉芽の上で花柄を切ります。タネを付けると養分の浪費となり、樹体が弱るので、花がしおれるのを待って切り取ります。秋には葉芽と花芽の数が同じくらいになるまで花芽を取ります。



植物の病害虫

その13 「オンシツコナジラミ」

ビニールハウスや温室などで越冬し、北海道でも年々増加している難防除害虫です。最近では家庭菜園や観葉植物など多くの植物で発生しています。世代交代が早いので、夏から秋かけて増殖して野菜や観葉植物などの葉や果実を吸汁して植物体を弱らせます。3世代以降は薬剤抵抗性がつきやすいので、同一薬剤を連用すると効果は低下します。



1 寄主しやすい植物

キュウリ、トマト、ナス、インゲンマメ、ポインセチア、ゼラニウム、ガーベラ、プリムラ、キンセンカ、ヒャクニチソウ、ヒマワリなどに好んで寄主します。

2 被害

成虫、幼虫、蛹は口針唇を植物組織に突き刺して吸汁するとともに、多量の甘露を排泄するため、激発した場合は葉や果実に“すす病”を併発します。すす病が発生すると植物の呼吸、同化作用が阻害され、また、果実では商品価値を著しく損ないます。本種は休眠しないので、北海道では野外での越冬は難しいとされていますが、住宅内やハウス、温室内において雑草などの植物体で発生を繰り返しながら越冬します。

3 生態

越冬場所から屋外への移動は5月上旬から始まり、はじめは雑草に移動し、しだいに周辺の露地野菜やハウス野菜、観賞用植物へと移動して分散します。発生は秋までに露地では3世代、ハウスでは5世代を繰り返します。

成虫は上位の新葉の葉裏に群生し、吸汁して盛んに産卵します。成虫の平均寿命は30～40日、交尾せず単性生殖する個体もあります。幼虫は、ふ化直後は短い肢で産卵場所付近を歩き回りますが、やがて葉裏でカイガラムシのように固着して吸汁しながら発育します。2齢以降は触角や肢が退化し、4齢以降を蛹と呼んでいます。20～25℃の条件下で成虫は羽化後1～3日で産卵を始めます。成虫と卵は上位の若い葉に、それより下位の葉には若齢幼虫、さらに下位の葉には老熟幼虫と蛹が存在します。成虫の体長は1.5mm内外で、ろう物質に覆われて白色をしています。

4 防除法

- (1) 発生状況を把握します。植物の上葉を軽く叩くと成虫が飛び立つので確認できます。
- (2) ハウスなどでは黄色の捕虫リボン「非散布型製剤（黄色テープ）」などを設置して、発生密度の低下を図ります。
- (3) 農薬散布は成虫の活動が鈍る夕方散布か、早朝散布が効果的です。
- (4) 虫態によって薬剤に対する感受性が異なり、各虫態が混在すると防除効果が低下するので早期防除に努めます。
- (5) 同一薬剤を連用すると薬剤抵抗性がつきやすいので、異なった系統の薬剤を使用しましょう。

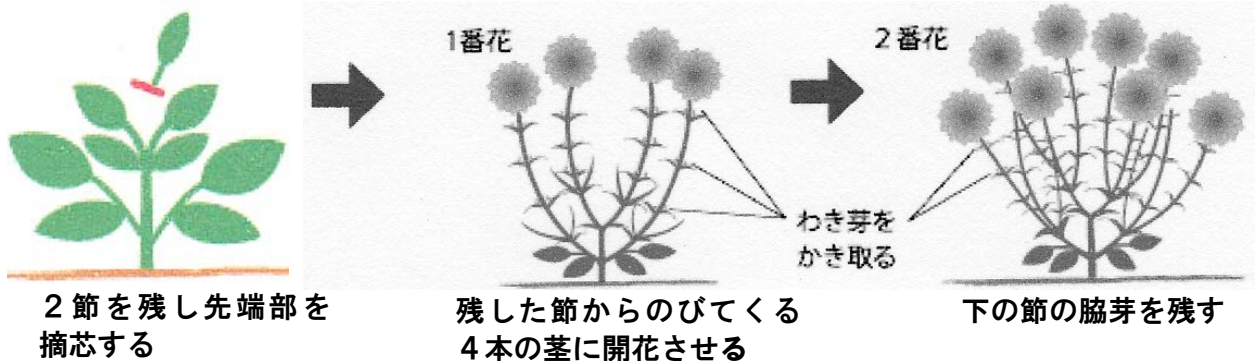
ダリアの摘芯仕立て

摘 芯

沢山の花を咲かせるためには、分枝を促し枝数を多くする必要があります。

発芽後、下の2節を残し先端部を摘芯すると腋芽が伸びて、4本の茎から一番花を咲かせる事が出来ます。一番花が咲いた後花がらを摘み取り、下の一節の腋芽を残し上の腋芽は摘み取ります。この腋芽が伸びて二番花が咲きます。

摘芯は沢山の花を次々と咲かせ、同時に草丈も低く抑える事になります。



摘 蕾

中・小輪種の蕾はすべて残し、大輪種はより大きく咲かせるため真中の一個を残して側蕾は早めに摘み取りましょう。

花がら摘み

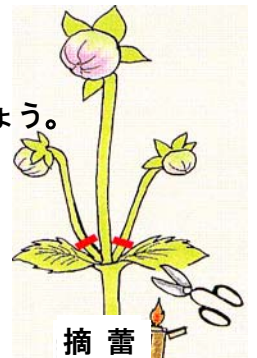
花がらは放置しておくとも、カビが生えやすいので早めに、こまめに行いましょう。

支 柱

ダリアの茎は空洞なので、風などにより倒れやすいので必ず支柱で支えます。

追 肥

ダリアは長い間花が咲き続けるので、肥料が少ないと貧弱な生育となります。葉の先端位のところに肥料を施しましょう。



展示室の植物(43)

チランジア・ウスネオイデス (サルオガセモドキ)

パイナップル科チランジア属

原産地はアメリカ南部から中南米。樹木に着生するひも状の常緑着生多年草。根はなく、葉は線形で表面は銀白色の鱗片毛で覆われており、この鱗片毛で空中の水分や養分を吸収しているエアープランツの仲間です。

サルオガセモドキとは、地衣類の「サルオガセに似ているけれど違うもの」という意味で名付けられました。